

紀の川の整備進捗についてご意見をいただきました

～『平成29年度 紀の川流域懇談会』を開催～

和歌山河川国道事務所

紀の川水系河川整備計画(H24.12策定)に基づく整備の進捗状況を、毎年有識者の方に確認いただいております。今回は、平成28年度の整備進捗及び平成29年台風21号出水について貴重なご意見をいただきました。今後も早期の整備完成に向けて努めていきます。

概要 対象河川:紀の川水系紀の川(国管理区間)

○日時:平成30年3月8日(水) 15:00～17:00

○会場:和歌山県民文化会館 3階 特設会議室

○主催:和歌山河川国道事務所 河川管理課(紀の川流域懇談会事務局)

○出席者:紀の川流域懇談会委員、和歌山河川国道事務所、紀の川ダム統管理事務所



懇談会の内容

平成28年度の主な進捗状況は、大きく3点あります。

●河川改修

5年間で集中的に行う岩出狭窄部対策に着手(平成28年10月10日起工式)し、無堤部の築堤を延伸。

●環境保全

河川水辺の国勢調査にて陸上昆虫類調査を実施。環境保全として、岩出対策箇所の貴重種を移植。

●河川維持

堤防や護岸の点検を実施。堤防の刈草を堆肥化して無料配布。



護岸の補修状況



完成後



移植対象のミゾコウジュ(RDB記載種)



堤防刈草の堆肥化、袋詰めして無料配布



座長
中川京都大学名誉教授



懇談会の開催状況

【主な質疑応答】

委員からは主に岩出狭窄部対策についてご意見をいただきましたが、その他にも河川環境や維持管理等に関するご発言もありました。

●岩出狭窄部対策で発生する河床掘削土砂は大量になるが、有効利用がなされるのか。

→圃場整備事業に再利用する旨を説明。

●岩出狭窄対策にあたって生物等への配慮は行ったのか。

→事前に環境調査を行い、レッドデータブック記載の植物(ミゾコウジュ)を移植およびモニタリング実施中であることを説明。

●生物生息状況等の環境調査を行う場所は、定期調査ごとに同じ箇所を実施しているか。

→河川水辺の国勢調査等の環境調査は、同じ箇所で行っていることを説明。

●堤防の刈草を堆肥化して配布しているが、コスト削減効果はあるのか。

→最大で2割程度安価となっていることを説明。

まとめ

各委員からの意見を踏まえ、今後も河川改修事業の円滑な進捗に努めるほか、良好な河川環境の保全、安全・安心な河川を維持するための河川管理を継続していきます。

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 河川管理課
〒640-8227 和歌山市西汀丁16番
TEL:073-424-2471(代表)

